



hacchi mini letter

2025年度
下半期
イベント
スケジュール

アーティスト・イン・レジデンス「アグネス吉井」レポート／こどもはっちの15周年オリジナル和菓子



はっちの15周年南部裂織プロジェクト／市民演劇プロジェクト



vol. 5





イベントスケジュールはこちら

11
NOV

11/15(土)・16(日)

暮らふとマーケット2025

全国から70組のクラフト作家やフード店が集まるクラフト市。



11/29(土)～12/25(木)

はっちのクリスマス

クリスマス仕様にライトアップするほか、クリスマスを楽しめるワークショップを開催。



11/30(日)

はっちがずっぱど南部弁

南部人が集うステージイベントやトークショーなど、南部弁づくしの1日。

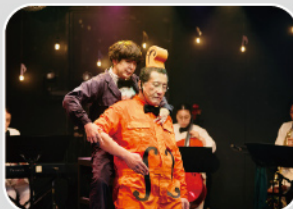


12
DEC

12/13(土)・14(日)

PANCETTA Special Performance "Gouche" (ゴージュ)

宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」を再構築し、絵本作家 tupera tupera と共に描くオリジナル作品を上演。0歳から入場 OK です。



12/6(土)

要予約

コミュニケーション ワークショップ

中学生以上を対象としたコミュニケーションに向き合うやさしい演劇ワークショップです。

1
JAN

1/2(金)・3(土)

はっちのお正月

書道パフォーマンスや民謡など、お正月を彩る和のステージを開催。

2/7(土)～20(金)

はっちの15周年

八戸ゆかりの作家による展示や市民演劇公演など、市民のみなさんと一緒にはっちの15周年をお祝します。



2
FEB

2/15(日)～3/1(日) ※2/24・25 休場

下崎雅之展

八戸えんぶりを取材し、えんぶりを取り巻く人々の姿をいきいきとかたちにする下崎雅之の創作世界を紹介する展覧会。



2/17(火)～20(金)

えんぶりinはっち

マチニクでのえんぶり公演のほか、えんぶり衣装の着付け体験などを実施。



2/28(土)～3/15(日)

まちぐみ展11

市民集団「まちぐみ」の1年間の活動の様子を振り返ります。

3
MAR



Photo: David Baltzer

3/7(土)・8(日)

岡田希淳・マルコ ジラルディン公演 Cho-Cho San 蝶々さん

ドイツ在住の日本人ダンサーとイタリア人音楽家によるダンス、音楽、演劇が融合した作品を上演。

12/19(金)、2/27(金)、
3/13(金)

はっち FRIDAY LIVE!

金曜の夜、はっちがパフォーマンス会場に!歌やダンスなどのパフォーマンスを披露します。





Re:CHAIR

～つないで、つむぐ、はっちの15年～

南部地方に伝わる伝統工芸「南部裂織（なんぶさきおり）」の技法で織った布で、はっちのイスの着せ替えカバーをつくる市民プロジェクト進行中

はっちのリビングには、来館者のみなさんがくつろげるテーブルやイスを設置しています。

開館から15年が経ち、汚れが目立ってきた布製のコロンイスたち。

地域の伝統工芸「南部裂織」の技法で織った布で、はっちのコロンイスの着せ替えカバーを市民のみなさんと作り、生まれ変わらせるプロジェクトが進行中です。

完成したイスカバーは2026年2月11日のはっち15周年記念日にお披露目予定です。



2025/12/29（月）まで

2026/2/11に
お披露目！

時間 10:00-15:30（※火・水曜を除く）

会場 はっち 4 階 工房「澄」^{ちよう}ほか

監修 南部裂織工房「澄」

予約
不要

参加
無料

かわいく
大変身！



南部裂織とは

江戸時代から青森県南部地方に伝わる伝統工芸。衣類や綿が貴重だったため、農村の女性たちが、着古した着物や古布を裂いて横系に、木綿糸を縦系にして織り上げたもの。丈夫で温かいため、衣類や生活用品として用いられてきました。



工房「澄」 岩淵 洋子さん

どなたでも気軽に体験できるプロジェクトなので、多くの方に体験していただき、物を大切にする心から生まれた歴史のある伝統工芸に触れていただきたいです。一度は役目を終えた布が、新しい命を吹き込まれて生まれ変わり、市民のみなさんの手で素敵に変身していくのをとても楽しみにしています。お披露目後は市民のみなさんの想いのこもったカバーを纏ったイスに、ぜひ多くの方に触って座っていただきたいです。





みんなでつくる演劇 「ア・ライブ」

はっちの15周年を記念して、若い世代のみなさんと一緒に演劇公演を作ります。公演会場は、はっちの中庭！中庭で公演を行うのは初めての試みです。2026年2月の公演に向けて、プロジェクトが進行中です。演出・脚本を手がける越智良江さんの事前リサーチやワークショップの様子をお届けします。



リサーチ



5月に初めて八戸入りした越智さん。八戸滞在中は市内を巡り、空気感を掴むため、歴史や自然に触れ、脚本の柱になるヒントを見つけました。

イマフォト

7月には演劇の要素を取り入れた写真ワークショップを開催。中心街の「映えスポット」で、その場所からどんなストーリーが生まれるかを想像しながらポーズや表情を付けました。参加者同士で動きを引き出しながら、撮影を進め、素敵な写真が完成！

イマフォト写真

マチニワ、ブックセンター、美術館、外壁がおしゃれなホテルなど、中心街のお気に入りスポットで撮影しました。

ヘアメイクをして、
着替えていざ撮影へ！



演劇なんでもサロン



越智さんと一緒に演劇について語ったり、ワークショップをする場「なんでも演劇サロン」を開設しました。演劇に関するワークショップやお悩み相談など、演劇に関することなら何でもOK！

高校演劇部のみなさんの
大会に向けての脚本と
演技のアドバイス

舞台関係の衣装さんに
なりたいたいという高校生の
進路相談

演出家のお仕事に
ついての自由研究をした
小学生の取材

など、参加者一人一人と越智さんが
じっくりと向き合い、お話をしました。



こんなに素敵な
表情に！



脚本・演出
越智 良江



八戸で忘れられない風景はたくさんありますが、中でも無島は特別。黄色い花々に囲まれ、青空にキャラキャラと響いていく賑やかな声は、華やかで軽やかで鬱陶しくて、15歳の青春時代を連れて来た。「進路」という名の「どこでもドア」はどこでもすぎて、迷って悩んで転んでたまにスキップして。これが進むべき路だったのかは分からないけど、大人になって世界は自分がいなくても続いていくと知った。でもこの物語はあなたがいないとできなかった物語。あなたと私から続いて、あなたと私が離れていく物語。八戸で八戸の若いみなさんとの創作時間が今から楽しみです。長い稽古はちょっと大変かもしれませんが、時間と思いは比例する。「私の人生に確かにあなたはいました。」そんな日々を八戸で過ごしたい、過ごして欲しい、過ごせるようにするぞ、と思っています。公演は2月、演劇と音楽で綴る60分の公演「ア・ライブ」。15歳のあなたとぜひご来場ください。

公演情報

「ア・ライブ」

音楽と演劇で綴る15歳のLIVE

日時 2026/2/7(土)、8(日)
15:00-16:00

場所 はっち1階中庭
(12月チケット発売予定)

脚本・演出 越智 良江

八戸のまちをたっぷり 味わうカラダのメニュー

ダンスユニット「アグネス吉井」による八戸のまちをカラダで味わうプロジェクト。

普段は見逃してしまうような些細なディテールや形状に注目し、人々の活動や暮らしの気配に触れながら、手触りや温度を拾い上げ、その場所から生まれる独自の「カラダのメニュー」を集めて、記録に収めました。いつもとは違った視点でまちを見ることで「日常をちょっと楽しくする」、場所が主役のプロジェクト。

ワークショップ

おでかけ！八戸を味わう カラダのメニュー まち歩き

中心街コース

comment

八戸の土地の
記憶に触れ、
この街の一部になる
ことができました。



comment

じっくり歩いてみて車だと
分らなかった街の良さが見えました。
歩くのも良いですね。



おでかけコース

まちの何気ないものを
主役にしたダンスは
初めてだったので
ダンスの概念が
変わりました。

comment



後ろ向きボルダリング

八戸のまちの 「ん？」スポット

なんだか気になる、
なんとなく面白く感じる、
そんなまちの中の「ん？」スポット情報を
市民のみなさんから提供していただき、
実際にアグネス吉井が現地に赴き、
カラダのメニューを作りました。



投稿いただいた場所に
実際にアグネス吉井が
行って振付をしました。



たくさんの方のみなさんが
「ん？」スポット情報を
提供してくれました！



アグネス吉井 コメント



はっちに約1か月滞在し中心街で生活する中で、八戸の中心市街地は、はっちやマチニワをはじめとした「ぼ〜とできる居場所」がさまざまな形で用意されていて、とても過ごしやすく感じました。市民のみなさんに参加いただいたまち歩きワークショップは、場所と内容がそれぞれ異なることを毎週開催するという内容で、いざ始めてみるとなかなかハードでした。無事に最後まで走り切ることができたのは、参加者の方々はもちろんのこと、八戸市と「はっち」のみなさまが与えてくれた環境のおかげです！滞在中、市内のあちこちへ足を伸ばし、たくさん歩き回って、普段よりもずっと集中した環境で創作に取り組みました。体の感覚とリンクした記憶というのは強力なので、八戸の色々な場所で味わったカラダのメニューの感覚は、これからも私たちの体の奥にずっと残り続けると思います。

プロジェクト
活動記録動画は
こちらから



ぜひチェック！

はっち INFORMATION



＼こどもはっち15周年記念／

子どもたちが考案！「オリジナル和菓子」

お披露目された
和菓子



発表会

はっち 4 階の子育て支援拠点「こどもはっち」も 2026年2月でオープン15周年を迎えます。15周年を記念して、オリジナル和菓子のデザインを子どもたちから公募しました。14点の応募の中から「ひよこ」「イカ」のデザインが採用され、8月には発表会が開催されました。今後、2026年の15周年記念イベントなどで販売会やお茶席を開催する予定です。

＼南部昔コからくり時計プロジェクト進行中／

はっちのシンボルの一つでもある「からくり獅子舞時計」の作者・高橋みのるさんがこどもはっちの15周年に合わせて、「南部昔コからくり時計プロジェクト」を進行中です。南部地方の民話「ねずみの相撲」をモチーフに、南部弁の音声とからくりを組み合わせた時計を制作し、12月にこどもはっちに寄贈予定です。南部弁の語りは八戸市公民館の館長・榎谷伸夫さんが務め、郷土の言葉と民話を楽しめる「絵が動く紙芝居」のようなからくり時計となります。完成をお楽しみに！



実際に木で制作する前に、ダンボールで原寸大で試作します。



からくり作家
高橋みのるさん

木と言葉の
ぬくもりを
感じてほしいです。

はっち
789
123
hacchi

八戸ポータルミュージアム はっち <https://hacchi.jp>

〒031-0032 青森県八戸市三日町 11-1

TEL | 0178-22-8228 FAX | 0178-22-8808 E-mail | hacchi@city.hachinohe.aomori.jp

開館時間 | 9:00～21:00 ※こどもはっち 9:30～16:30 休館日 | 火曜日（祝日の場合その翌日）、12/31 及び 1/1



ACCESS ※一般駐車場はございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

バス | 八戸駅東口から八戸市中心街方面行き [約 25 分] 八戸中心街ターミナル「八日町」下車すぐ

鉄道 | 八戸駅から JR 八戸線「本八戸駅」下車 [徒歩約 10 分] 車 | 八戸駅から車 [約 20 分]

航空機 | 三沢空港から八戸市内シャトルバス [約 55 分]

フェリー | 八戸港フェリーターミナルから車 [約 15 分]



発行 | 八戸市 商工労働まちづくり部 八戸ポータルミュージアム 発行日 | 2025 年 10 月 イラスト | 就労継続支援 B 型事業所あおば